





段々とその花もしぼんでいきます

“もっとあの子より成績が良くないと”  
“もっとしっかりしなさい”  
“もっとなんでちゃんとできないの”

そうした言葉だけを注がれてしまうと  
心の花は途端にしぼんでいきます  
あなたの心の花がうんと咲くように

“愛がつまった言葉のしずく”

を注いでください

“今日までがんばってきたよね”  
“どんなことがあっても味方だよ”  
“そんな日もあっていいんだよ”  
“なにがあっても幸せにするよ”  
“幸せになっていいんだからね”  
“愛してるからね”

そうした愛の言葉のしずくがあなたの心の花を大きく鮮やかな大輪の花を咲かせるのです。

### <<おやのこころ>>

自動車運転免許証の更新手続きに行ってきました。  
日曜日の午前中で天気も良かったからでしょうか、大勢の申請者が来ています。いろいろな手続きをするために、何度か順番待ちをしていたところ、ある所で1列に並んでいた行列が2列に分かれました。

右を選ぶか、それとも左を選ぶか。一瞬の判断が求められます。結局、左側に並んだのですが、どうやら右側の列のほうが人の流れが速そうです。1列に並んでいたときに後ろにいた人が、すでに2、3人分前へ進んでいるような気がします。

「同んなじ種を蒔いても早いのも遅いのもある。  
所々によって遅れるのもある。遅れたぶには構いませんで／＼」

人の流れを気にして左の列を選んだことを悔いていると、幼い女の子の歌声が聞こえてきました。家族連れで順番待ちをしている方のお子さんのようです。可愛らしいしぐさや歌声に気を取られて、しばらく眺めているうちに自分の順番が来ました。必要な手続きを済ませると、もう

左右の列の順番のことはすっかり忘れていました。誰が先で誰が後だったのか、顔を思い出すことすらできません。どうやら、本当にどうでもいいことを気にして、イライラしかけていたようです。休日の朝の気分を和らげてくれた可愛らしい歌声に感謝して、今日も気持ちのいい一日を過ごしましょう。(岡)

### 今日の おやのことは



「心違わねば末代子孫に続くで」

同んなじ種を蒔いても

早いのも遅いのもある。

所々によって遅れるのもある。

遅れたぶには構いませんで／＼。

おさしづ 明治22年7月24日

＜おさしづ原文＞

明治二十二年七月二十四日 高安分教会設置再願の時機に相成り居るや、又は未だ来らざるや、若し未だ来らずば、既に材木伐採これある故、普請の儀御許可相成度伺

さあ／＼尋ねる処、さあ／＼前々以て一つの事情を運びたる処、前々の事情はどうであったかと思うやろう。同んなじ種を蒔いても早いのも遅いのもある。所々によって遅れるのもある。遅れたぶには構いませんで／＼。

改めて一つの理を諭そう。一つの種を蒔く。旬が来たなら生える。急いてはいかんで。こうして置いては理が運ばれん、済まんという。こりゃ急いてはいかん。一日も早くと思うやろう。なれども一つの事情がある

押して、然らば何卒材木伐採これある故、普請だけ御許可下さるよう願

さあ／＼尋ね返やす処の理を聞かそう。前々の事情ならば、そのまゝ順々を運ばずしては、暇の要る上尚暇が要るで／＼。急くが遅くなる。遅くが早い理である。

明治二十年六月十三日 井筒梅治郎家内の者、身上障りに付、御願いせしに、水のおさづけを頂けり。その時のさしづ

さあ／＼内にも障り付けて引き寄せた。長々細道余程勢もあるまい。

さあ／＼長々のきゆうこう、その功によって、さあ／＼さづけ、神水の水をさづけ。

さあ／＼さあしっかり受け取れ。この水にて人を救けるのやで。たとえ何処の水、どのよの水汲んでも、三度口頂いてやるのやで。さあ／＼さあ／＼落すやない、戻すやない。神は返やせとは言わん。なれども心違えば、直ぐに戻るで。心違わねば末代子孫に続くで。神が返やせと言わん程に。よく／＼心違わんよう、さあ／＼受け取れ、しっかり受け取れ。

今回のおやのこころは2つのおさしづの合成。「心違わねば末代子孫につづくで」は水のおさづけの心得なのですが、今別席を運んでおやさまから戴くおさづけも共通の心得なのだと思えます。ただ、今のおさづけはその人個人に戴く物で末代ではないんです。

もう一つの 「同んなじ種を蒔いても早いのも遅いのもある。所々によって遅れるのもある。遅れたぶには構いませんで／＼」は、高安大教会の普請に関してのさしづ。

人はどうしても早く急いで事を済ませたいと言う気持ちが働く物だと思えます。確かに時代は早さをも求めているように思えます。しかし、物によってはじっくりゆっくり作り上げないと出来ないことがあります。

例えば、まったく新しい技術で製品を作り出そうとすると、試行錯誤を繰り返し失敗を繰り返し積み上げられた結果から、念には念を入れて検査とテストを繰り返した上で製品となってきます。当然時間も人手もかかりますから価格も高く重厚でしっかりした物としてできあがってきます。まったく手抜きはありません。プロトタイプとも言うべき製品は、しっかり時間をかけて作り込まれているので故障が少ないとも言われています。

しかし、同じ製品の第2弾第3弾となると、プロトタイプで得た情報をもとに製品開発を進めますから必然的に時間の短縮が求められます。また、念には念を入れた内容から、動作に大きな影響を及ぼさない物や使われな機能などが省かれていきます。

これは開発コストなどを考えると必要なことになります。が、悪く言うと手抜きが出来る場所を探しているとも言えます。すなわち、改良されている部分もあれば改悪となっている部分もある。時間を短縮するという種をまいたからそう言ったとも言えるのでしょう。しっかり作り込んで物を作るという心。いつも使い手が喜ぶように手を抜かない心使い。そのためには時間がかかる。結果としては良い物が完成し末永く喜ばれるのでしょう。





## <詐欺メール>

先日届いた詐欺メール。

5月半ばに届いたのですが、5月3日に東京へ行くためにEXアプリをスマホに入れて新幹線のチケットを購入しました。その関係かと思い、何か手違いでもあったのかと思いましたが、よく文面を見るとどこかおかしい？

無駄な空白、しかも、半角で入っている。単語を分割しているかと思えば空白無く変な感じで繋がっている。詐欺メールと思ったので、ネットで調べるとやはりありました。このメールを受け取る数日前に同じようなメールが来て期限が切れたのかと思って青い部分をクリックしてクレジットカードの番号なんかをとられた話があったことを思い出しました。

この詐欺にかかるのは決して

ひながたを通ることにはならない。なぜなら人を助けていない。注意喚起を促すことは人助けに繋がると思う。

まず期限を切って脅かすようなメールが来たら、そのメールの指示に従うのではなく、ブラウザのブックマーク（お気に入り）などで登録しておいたいつもログインしている場所からログインしメールなどで指摘された内容を確認するように心がけることが大切。

また、突然パソコンの画面がロックされて警告画面が表示されても指示された電話などには絶対電話したりクリックしたりしないこと。そのときは、PCの電源ボタンを長押しして強制的に電源を切って下さい。出来れば、ネットに接続しないようにして電源を入れて動作を確認しましょう。いつものように立ち上がれば何も心配は無いです。

どうしても心配な場合は私まで連絡下さい。ホント注意しましょう。

## <<時代の変化>>

5月3日に急遽、東京へ行きました。前日に急に決めたので、飛行機はまず無理。新幹線も連休中でのぞみは全て指定席運行。

ネットで調べるとEXアプリをスマホにインストールすることで新幹線の予約とチケットも手に入るということ。とにかく、アプリをインストール。初期設定を進める途中で交通系ICカードを登録しておく

そこに切符が保存される？切符が紙でなくなるのかと思いつつ手持ちのICOCAを登録。それも、スマホのカメラを使って写真で写すことで番号が登録される。ホントびっくり浦島太郎です。指定席を無事予約できてPC画面には表示されているのですが、不安な私は念のためその画面を印刷して持って行きました。手元にないというのは、不安なんですよ。幸い当日ICOCAを改札でタッチするだけで無事乗車することが出来ました。どんどん、スマホ重視の世界になっていくのがどこか怖いとも思いました。

